

設 計 図 書 質 問 回 答 書

業務名：下水道管渠総合地震対策実施設計業務委託（7-2）

No.	質 問	回 答
1	本管（既設管）の種別を教えてください。 HP管もしくはシールドでしょうか。	HP管です。
2	シールド工法の管渠の場合、コンクリートセグメントでしょうか（二次覆工で詳細調査はしないと考えられるため）	上記のとおりです。
3	中性化試験工は、採取したコアによる試験でしょうか。 本管をはつっての試験でしょうか。	本管をはつっての試験です。
4	圧縮強度試験は、採取したコアによる試験でしょうか。 非破壊検査（シュミットハンマー）でしょうか。	圧縮強度測定器による非破壊試験です。
5	本管調査工（中性化等）が16測点になっています。 1測点当たり3箇所調査でしょうか。	管口付近を測点とし、1測点当たり1箇所の調査です。
6	コアを採取する場合、採取するコアはソフトコアでしょうか。	当初設計では、コアの採取は想定しておりません。
7	仕様書に「測量調査によって既設管渠及びマンホールの諸元を確認すること」と記載されていますが、現地作業として管底高、人孔地盤高、口径測定、人孔内形状等の調査は本業務に含まれますか。 それとも台帳や竣工図等で確認・設計を行えばよろしいでしょうか。	現地作業として管底高、人孔地盤高、口径測定、人孔内形状等の調査は本業務に含まれます。
8	劣化調査は、昼間作業でしょうか。夜間作業でしょうか。 夜間作業の場合、変更対象となりますか。	昼間作業を想定しています。 夜間作業については必要に応じて協議の上、変更対応を考えます。
9	仕様書には公私道調査の実施が明記されていますが、設計書には計上されていないように思えます。 公私道調査は本業務に含まれますか。	公私道調査は本業務に含まれません。
10	管内調査は「昼間」調査の予定でよろしいでしょうか。 仮に「夜間」調査となった場合は変更対象になりますでしょうか。	No.8と同様です。
11	管内調査時の管内水位は人員が作業可能な水位まで低下が可能でしょうか。（ひざ下程度の水深、歩行可能な流速の確保）	当該路線において、昼間点検調査をした際の水位はひざ下程度であったため作業可能と想定していますが、状況に応じて調査方法を協議します。